

# 米国厳選成長株集中投資ファンド Aコース（為替ヘッジあり）

＜愛称：新世紀アメリカ ～Yes, We can!～＞

追加型投信／海外／株式

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国を中心とした企業の株式（DR [預託証券] を含みます。）に実質的に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年9月18日～2026年3月17日

第25期	決算日：2026年3月17日	
第25期末 (2026年3月17日)	基準価額	9,725円
	純資産総額	189百万円
第25期	騰落率	△9.7%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。  
(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

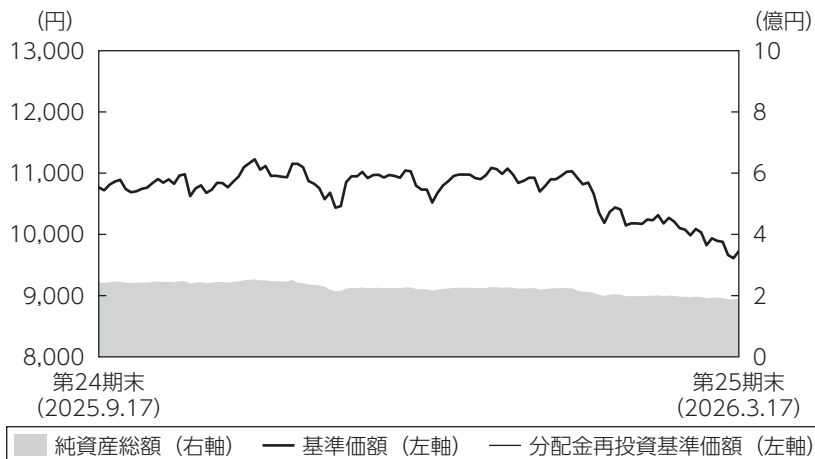
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第25期首： 10,767円  
 第25期末： 9,725円  
 (既払分配金0円)  
 騰落率：  $\Delta$ 9.7%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

G S 米国フォーカス・グロース (為替ヘッジありクラス) 受益証券への投資を通じて米国を中心とした企業の株式に実質的に投資を行いました。作成対象期間中、米国株式市場は下落しました。当初、F R B (米連邦準備理事会) の利下げ期待から上昇しました。その後、A I (人工知能) 関連銘柄の加熱懸念から、上昇と下落が交錯し、期末にかけて、中東情勢の緊迫化により、下落しました。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第25期		項目の概要
	(2025年9月18日 ～2026年3月17日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	66円	0.616%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,704円です。
(投信会社)	(20)	(0.191)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(44)	(0.409)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用 (監査費用)	0 ( 0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	66	0.618	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

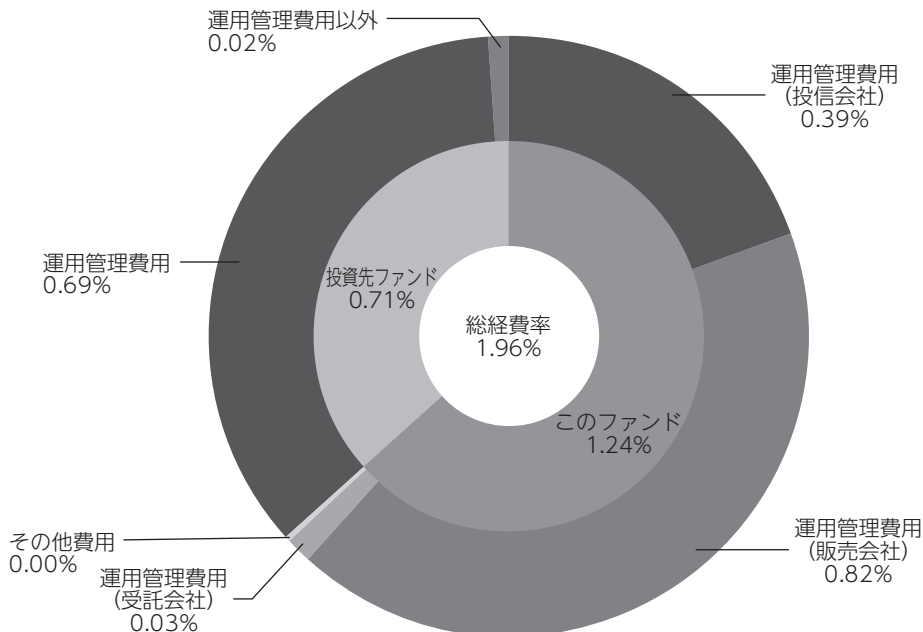
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

（参考情報）

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.96%です。



総経費率 (①+②+③)	1.96%
①このファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

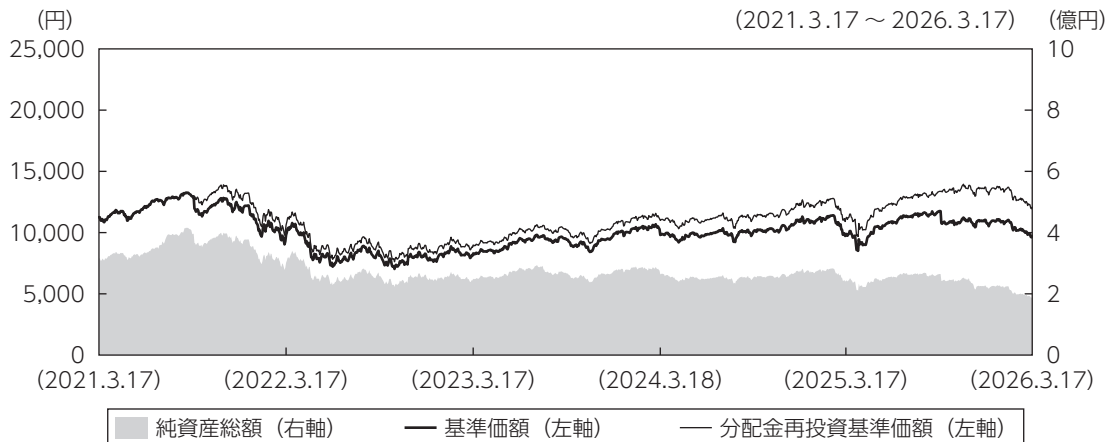
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドは、源泉税を含みません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



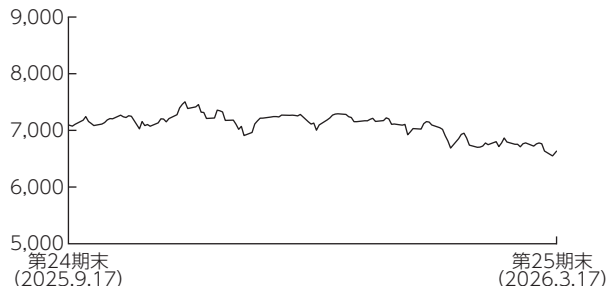
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2021年3月17日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2021年3月17日 期首	2022年3月17日 決算日	2023年3月17日 決算日	2024年3月18日 決算日	2025年3月17日 決算日	2026年3月17日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	11,261	9,804	8,297	9,806	9,821	9,725
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	1,000	0	340	140	1,000
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△5.7	△15.4	22.3	1.6	8.2
参考指数 (S & P500インデックス (円ヘッジベース)) の騰落率 (%)	—	9.7	△13.5	21.4	4.3	—
参考指数 (Russell 1000 グロース インデックス (配当込み、円ヘッジベース)) の騰落率 (%)	—	—	—	—	8.6	16.1
純資産総額 (百万円)	315	301	249	263	242	189

- (注) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数は2024年11月30日まではS & P500インデックス (円ヘッジベース)、2024年12月1日以降はRussell 1000 グロース インデックス (配当込み、円ヘッジベース) です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。

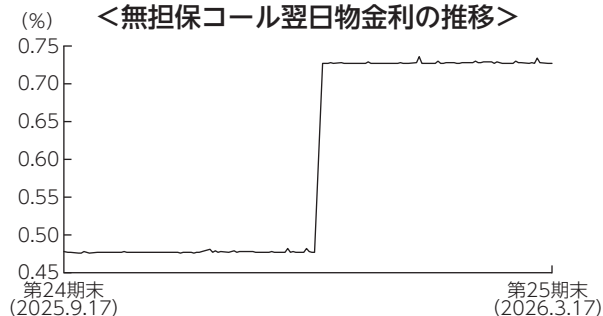
## 投資環境

＜Russell 1000 グロス インデックス (配当込み、円ヘッジベース) の推移＞



米国株式市場は下落しました。当初、FRB (米連邦準備理事会) の利下げ期待から上昇しました。その後、AI (人工知能) 関連銘柄の加熱懸念から、上昇と下落が交錯し、期末にかけて、中東情勢の緊迫化により、下落幅を拡大しました。

＜無担保コール翌日物金利の推移＞



国内短期金融市場では、無担保コール翌日物金利は0.47%から0.48%程度の水準で始まりましたが、2025年12月に日銀が政策金利を引き上げたことから同金利は上昇し、期末にかけては0.72%から0.73%程度の水準で推移しました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

G S 米国フォーカス・グロース（為替ヘッジありクラス）受益証券の組入比率は、原則として高位を維持し、「MHAM短期金融資産マザーファンド」受益証券への投資も行いました。

### ●G S 米国フォーカス・グロース（為替ヘッジありクラス）

革新的な商品を有する、低コスト体質、市場シェア拡大余地があるなどの特徴を持ち、株価が割安な水準にあると判断される銘柄に選別投資を行いました。

また、保有する資産に対して為替ヘッジを行いました。

### 【組入上位5業種】

2026年2月26日現在

順位	業種	比率
1	情報技術	35.6%
2	コミュニケーション・サービス	16.3%
3	一般消費財・サービス	13.5%
4	金融	12.9%
5	ヘルスケア	7.4%

### 【組入上位5銘柄】

2026年2月26日現在

順位	銘柄	業種	比率
1	エヌビディア	情報技術	9.2%
2	アルファベット クラスC	コミュニケーション・サービス	9.2%
3	マイクロソフト	情報技術	8.5%
4	メタ・プラットフォームズ	コミュニケーション・サービス	7.1%
5	アマゾン ドット コム	一般消費財・サービス	7.1%

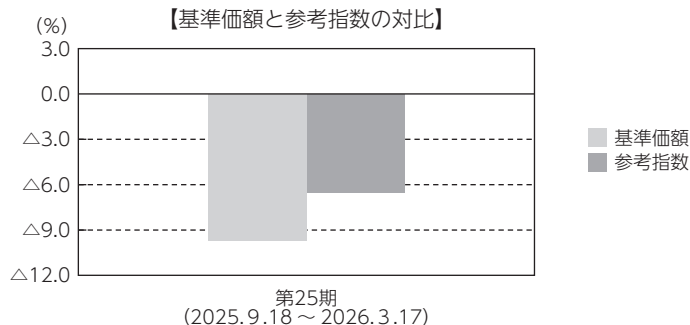
(注) 比率は、「ゴールドマン・サックス（ケイマン諸島）ユニット・トラストーG S 米国フォーカス・グロース」の純資産総額に対する評価額の割合です。

### ●MHAM短期金融資産マザーファンド

残存期間が1年以内の短期公社債などで運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

## 分配金

当期の収益分配金は、基準価額の水準や市況動向等を勘案した結果、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

## 分配原資の内訳 (1万円当たり)

項目	当期
	2025年9月18日 ~2026年3月17日
当期分配金 (税引前)	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	587円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金 (税引前)」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金 (税引前)」の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益 (含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

G S 米国フォーカス・グロース（為替ヘッジありクラス）受益証券の組入比率を、原則として高位に維持し、信託財産の中長期的な成長を目指します。また、「MHAM短期金融資産マザーファンド」受益証券への投資も行います。

### ●G S 米国フォーカス・グロース（為替ヘッジありクラス）

今後の運用に際しては、ボトムアップの銘柄選択に注力します。革新的な商品を有する、低コスト体質、市場シェア拡大余地があるなどの特徴を持ち、株価が割安な水準にあると判断される銘柄に対し、中長期的な観点から選別投資を行って参ります。

また、保有する資産に対して為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

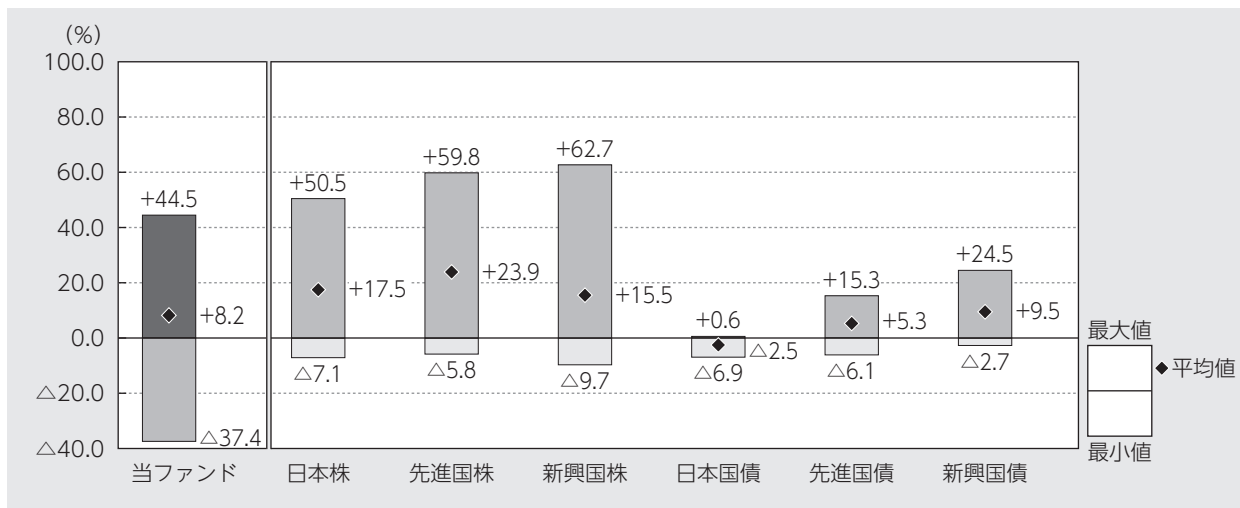
### ●MHAM短期金融資産マザーファンド

日銀は2026年1月の金融政策決定会合で、政策金利を0.75%とする金融政策を維持しました。日銀は今後も政策金利の引き上げを行うと見られますが、欧米で見られた形の急激な金利引き上げは回避すると想定されます。そのため、今後も短期公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2013年9月30日から2028年9月19日までです。	
運用方針	主として、円建ての外国投資信託である「ゴールドマン・サックス (ケイマン諸島) ユニット・トラストーGS 米国フォーカス・グロース (クラスF (SDist)・円建て円ヘッジあり)」受益証券 (以下「GS 米国フォーカス・グロース (為替ヘッジあり) クラス) 受益証券」といいます。) への投資を通じて、米国を中心とした企業の株式 (DR [預託証書] を含みます。以下同じ。) に実質的に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	米国厳選成長株集中投資ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	円建ての外国投資信託である「GS 米国フォーカス・グロース (為替ヘッジあり) クラス)」受益証券および円建ての国内籍投資信託「MHAM短期金融資産マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	GS 米国フォーカス・グロース (為替ヘッジあり) クラス)	米国の株式を主要投資対象とします。なお、米国の株式以外の証券等にも投資することがあります。
	MHAM短期金融資産マザーファンド	わが国の短期公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
運用方法	外国投資信託 (GS 米国フォーカス・グロース (為替ヘッジあり) クラス) への投資を中心に行い、投資対象ファンドの合計組入比率は高位を維持することを基本とし、米国を中心とした企業の株式を厳選し、15~20銘柄程度に集中投資を行います。外国投資信託では、保有する資産に対して原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。	
分配方針	原則として毎年3月17日および9月17日に、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2021年3月～2026年2月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容 (2026年3月17日現在)

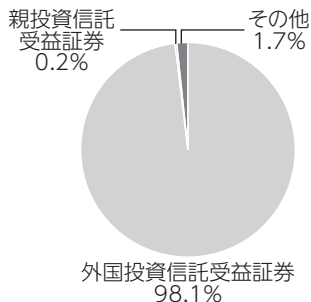
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：2ファンド)

	当期末
	2026年3月17日
GS 米国フォーカス・グロス (為替ヘッジありクラス)	98.1%
MHAM短期金融資産マザーファンド	0.2
その他	1.7

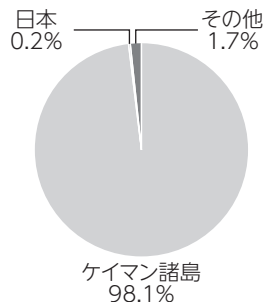
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

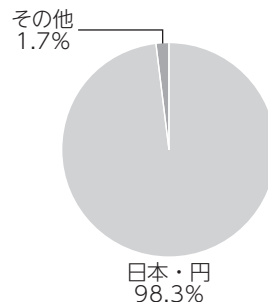
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

(注3) 国別配分につきましては発行国 (地域) で表示しております。

### 純資産等

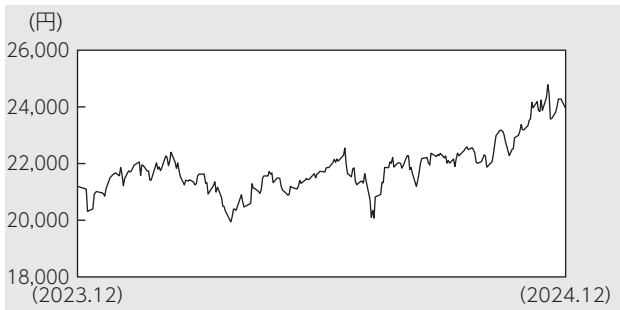
項目	当期末
	2026年3月17日
純資産総額	189,477,505円
受益権総口数	194,838,118口
1万口当たり基準価額	9,725円

(注) 当期中における追加設定元本額は712,420円、同解約元本額は31,103,313円です。

## 組入ファンドの概要

[G S 米国フォーカス・グロース (為替ヘッジありクラス)] (計算期間 2024年1月1日~2024年12月31日)

### ◆基準価額の推移



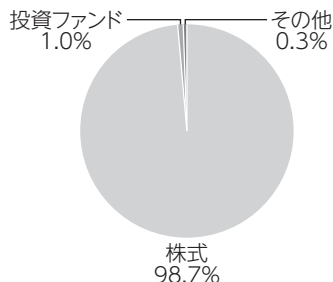
### ◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
Apple Inc	アメリカ・ドル	9.7%
Alphabet Inc, Class A	アメリカ・ドル	8.9
Mastercard Inc	アメリカ・ドル	7.6
Meta Platforms Inc	アメリカ・ドル	7.4
Marvell Technology Inc	アメリカ・ドル	6.5
Broadcom Inc	アメリカ・ドル	6.3
Microsoft Corp	アメリカ・ドル	5.8
Boston Scientific Corp	アメリカ・ドル	5.7
Eli Lilly & Co	アメリカ・ドル	4.3
Old Dominion Freight Line Inc	アメリカ・ドル	4.3
組入銘柄数	21銘柄	

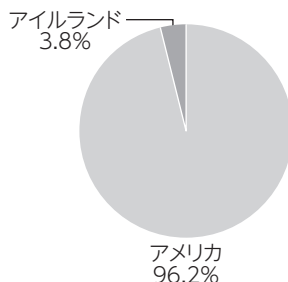
### ◆1万口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載していません。

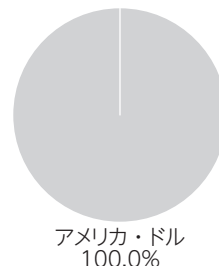
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



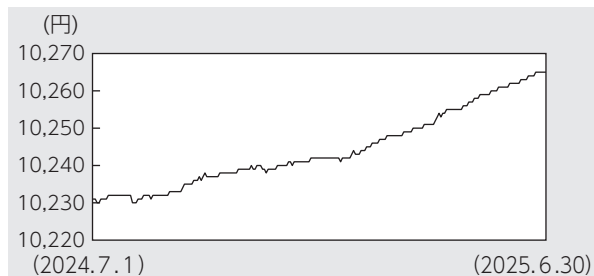
### ◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移はG S 米国フォーカス・グロース (為替ヘッジありクラス) の計算期間のもので、また、当期における分配金を再投資したもものとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。
- (注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、G S 米国フォーカス・グロース (為替ヘッジありクラス) の実質的な投資先であるゴールドマン・サックス (ケイマン諸島) ユニット・トラストーG S 米国フォーカス・グロースの内容になります。
- (注3) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、G S 米国フォーカス・グロースの決算日現在の状況を表示しております。
- (注4) 組入上位10銘柄、資産別配分、通貨別配分の比率はG S 米国フォーカス・グロースの純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 資産別配分の現金等はその他として表示しています。
- (注6) 国別配分の比率は、G S 米国フォーカス・グロースのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注7) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示してあります。
- (注8) 保有する資産に対して、原則として対円での為替ヘッジを行います。
- (注9) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は、財務書類およびゴールドマン・サックス・アセットマネジメント・エルピー提供のデータ等を基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

**[MHAM短期金融資産マザーファンド]**（計算期間 2024年7月2日～2025年6月30日）

◆基準価額の推移



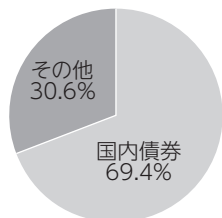
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
148回 共同発行市場公募地方債	日本・円	16.5%
149回 共同発行市場公募地方債	日本・円	11.0
153回 共同発行市場公募地方債	日本・円	11.0
27年度7回 福岡県公募公債	日本・円	11.0
27年度8回 埼玉県公募公債	日本・円	11.0
329回 北海道電力社債	日本・円	4.4
537回 関西電力社債	日本・円	4.4
—	—	—
—	—	—
—	—	—
組入銘柄数	7銘柄	

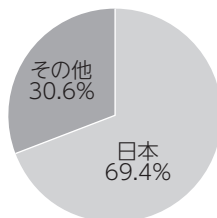
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

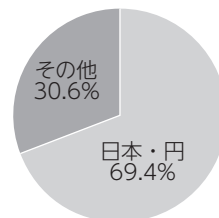
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので  
 (注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。  
 (注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。  
 (注4) 現金等はその他として表示しています。  
 (注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

## <当ファンドの参考指数について>

### ● S & P 500インデックス (円ヘッジベース)

S & P 500インデックスは、S & P ダウ・ジョーンズ・インデックス L L C またはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S & P ダウ・ジョーンズ・インデックス L L C、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズ L L C またはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、S & P 500インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

### ● Russell 1000 グロース インデックス (配当込み、円ヘッジベース)

Russell 1000 グロースインデックスとは、FTSE Russell が公表している米国の株価指数です。  
[FTSE Russell®] は London Stock Exchange Group plc およびそのグループ企業（総称して「LSEグループ」）の関連する企業の商標であり、ライセンスを受けて他のLSEグループの企業にも使用されています。FTSE Russell のインデックスまたはデータに関するすべての権利は、そのインデックスまたはデータを所有する関連するLSEグループの企業に帰属します。LSEグループおよびライセンサ各社はFTSE Russell のインデックスおよびデータに関する瑕疵または不作為に対して如何なる責任も負いません。また、何人も本媒体に含まれるFTSE Russell のインデックスやデータに依存することは許されません。書面に基づくLSEグループの企業の同意がない限りLSEグループのデータを再配信することは許されません。LSEグループは本媒体の内容について販売促進や出資、保証することはありません。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数 (T O P I X)」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社 (以下「J P X」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利は J P X が有しています。
- 「M S C I コクサイ・インデックス」は、M S C I I n c. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は M S C I I n c. に帰属します。また、M S C I I n c. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「M S C I エマージング・マーケット・インデックス」は、M S C I I n c. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は M S C I I n c. に帰属します。また、M S C I I n c. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「N O M U R A - B P I 国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「F T S E 世界国債インデックス (除く日本)」は、F T S E F i x e d I n c o m e L L C により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数は F T S E F i x e d I n c o m e L L C の知的財産であり、指数に関するすべての権利は F T S E F i x e d I n c o m e L L C が有しています。
- 「J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイド」は、J . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は J . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

